



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**42**号
平成21年7月15日

河津町議会だより



西小学校の梅とり風景（学校梅園）

主な内容

- 平成21年度第2回定例会（要旨）…………… 2～3 P
- 町長の行政報告…………… 4 P
- 一般質問…………… 5～7 P
- 視察研修報告 他…………… 8～9 P
- 議長の主な活動報告、編集後記…………… 10 P

平成21年

第2回定例会

(要旨)

6月3、4日に開かれた第2回定例会は、下記の通り、第1日目には町長の行政報告に続いて、3名の一般質問が行われ、報告案件1件、人事案件1件、専決案件6件審議した。第2日目には21年度補正予算4件、契約案件1件を審議し、すべて原案通り可決承認した。

6月3日(水)

○町長の行政報告 ○一般質問 (3名)

- ・報告第1号…繰越明許費計算書について
(平成20年度河津町一般会計)
- ・同意第3号…固定資産評価員の選任について
- ・承認第1号…専決処分の承認を求めることについて
(平成20年度河津町一般会計補正予算 第9号)
- ・承認第2号…専決処分の承認を求めることについて
(平成20年度河津町国民健康保険特別会計補正予算 第5号)
- ・承認第3号…専決処分の承認を求めることについて
(河津町税条例の一部を改正する条例について)
- ・承認第4号…専決処分の承認を求めることについて
(河津町都市計画税条例の一部を改正する条例について)
- ・承認第5号…専決処分の承認を求めることについて
(河津町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について)
- ・承認第6号…専決処分の承認を求めることについて
(平成21年度河津町老人保健特別会計補正予算 第1号)

6月4日(木)

- ・議案第37号…平成21年度河津町一般会計補正予算 (第1号)
- ・議案第38号…平成21年度河津町介護保険特別会計補正予算 (第1号)
- ・議案第39号…平成21年度河津町水道事業会計補正予算 (第1号)
- ・議案第40号…平成21年度河津町温泉事業会計補正予算 (第1号)
- ・議案第41号…平成21年度河津町観光交流館建設工事請負契約について

報告案件

- 平成20年度一般会計の繰越明許費を翌年度に繰り越す。

人事案件

- 固定資産評価員の選任について
河津町見高489番地
土屋 雅之氏 (新任)

専決案件

- 専決処分について、平成20年度、21年度補正

予算の承認及び河津町税条例の一部の改正が行われた。また、河津町都市計画税条例の一部を改正する条例について、河津町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についても改正が行われた。

工事請負契約

- 平成21年度河津町観光交流館建設工事を223,440千円で東海・加藤・鳥沢特定建設工事共同企業体が契約した。

可決した21年度補正予算**●河津町一般会計補正予算**

歳入歳出に36,695千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ3,698,695千円とする。
これは4月の人事異動により職員の給料、その他人件費の変動による補正のほか、峠地区大噴湯公園バリアフリー化費等1,680千円、河津桜・もみじ植栽費3,162千円、谷津区コミュニティー事業補助金1,800千円、消防団員退職報償金4,317千円など。

●河津町介護保険特別会計補正予算

歳入歳出から264千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ670,836千円とする。清算による。

●河津町水道事業会計補正予算

4月の人事異動により、収益的支出766千円を減額し、水道事業費を180,398千円。資本的支出において、川横配水池整備事業1,658千円追加し、総額を122,651千円とする。

●河津町温泉事業会計補正予算

4月の人事異動により、収益的支出73千円を減額し、温泉事業費を118,065千円とする。

平成21年 第3回臨時会

6月19日に開かれた第3回臨時会は次の議案を可決しました。

- 議案第42号…下田市、河津町、南伊豆町及び松崎町の廃置分合について
- 議案第43号…下田市、河津町、南伊豆町及び松崎町の廃置分合に伴う財産処分に関する協議について

議案第44号…下田市、河津町、南伊豆町及び松崎町の廃置分合に伴う経過措置に関する協議について

議案第45号…下田市、河津町、南伊豆町及び松崎町の廃置分合に伴う議会の議員の定数に関する協議について

第2回定例会 町長の行政報告



●職員の人事異動について

4月1日付で41名の人事異動の発令。本年度採用職員は、平成20年度末の11名の退職者に対し、5名を新規採用、職員交流等で5名の職員を派遣。

●町営バス事業について

本年で3年が経過し、逆川と西小学校、河津駅を結ぶ路線運行をしており、平成20年度の普通料金乗車人数は307名、児童、園児の定期券利用者が3,027名、合計3,334名の利用者であった。

●南伊豆地区合併協議会について

下田市、河津町、南伊豆町、松崎町の1市3町で協議を進めて来て、協議項目26項目が確認される。現在の状況を見ると1市3町の合併は厳しい状況である。廃置分合を提案するまで最善の努力をする。

●定額給付金事業について

4月8日に町内全世帯に申請書を送付。同月13日から受付を開始。給付は同月20日から現金給付を行い、給付状況は、5月末で3,089世帯、金額で1億2,394万円を給付した。

●静岡地方税滞納整理機構の徴収実績について

平成20年4月の業務開始以来、本年3月末までの実績として、機構全体で7億2千万円の直接徴収、納付約束1億8千万円、移管予告による自主納付40億円の成果。河津町分、直接徴収520

万円、納付約束250万円、移管予告による自主納付610万円、計1,380万円の成果。

●固定資産土地評価替について
本年は3年に1回の評価替を実施、全地目のうち宅地介在田のみの増額、他の地目はすべて減額、土地の総評価額は、309億6千6百万円、平成18年度対比27億2千万円の減となり、主なものは宅地が約22億9千万円の減によるもの。

●特定健康診断について

昨年から40歳から74歳の健康診断を各保険者が実施、メタボリック・シンドロームに対応した健康診断指導、平成20年度、40歳から70歳の対象者2,387人に対し678人が受診、75歳以上の後期高齢者1,343人に対し、365人が受診した。

●町営施設の入館、入園状況について

平成20年度の温泉施設は、踊り子温泉会館は、74,074人、前年比5,046人減、サンシップ今井浜は27,793人、前年比2,762人の減。

花卉園については、カーネーション見本園が、4月26日に入園者10万人を達成、花菖蒲園は、5月13日に入園者50万人を達成した。

●河津バガテル公園について

9年目を迎えた公園は、今年フランス・パリ市から統括プロデューサーとパリバガテル公園長が来町され、3日間のバラの管理育成の技術指導を受けた。5月のゴールデンウィーク中の入園者は、4,709人で前年比2.3%の減であった。

●観光施設整備事業について

見高入谷の温泉施設に、平成20年度事業で、「宿泊棟」、「製造棟」を併設、4月16日に落成式を

実施した。

峰大噴湯公園の利用状況は、2月1日オープン以来5月末で5万人余の来遊客、町内の誘客の目玉となっている。

●工事関係について

田中地内観光トイレ整備工事、東海建設(株)が、1,148万7千円で落札契約した。完成は8月中を予定。

(仮称)河津町観光交流館建設工事、5月29日入札を実施、東海、加藤、鳥沢特定建設工事共同企業体が、2億2,344万円で落札、仮契約を締結した。観光と産業の拠点施設、本年12月末の完成予定。

●国際交流事業について

パリ市バガテル公園、国際バラ新品種コンクールへ、行政、一般参加者、10名で6月9日から15日までの5泊7日で参加。

●学校給食センター運営状況について

新しい施設で4月から給食を開始、約2ヶ月を経過、大きな混乱もなく順調に運営、今月は県の主催で、地元食材や地域の食文化を生かした献立を給食に取り入れ、「ふるさと給食週間」を実施。

●第24回国民文化祭について

河津町主催事業として11月1日～2日、河津バガテル公園で「フランス民族舞踊と伊豆の伝統芸能の祭典」を開催、フランスからは民族舞踊団、河津町から「見高神社三番叟」と「大鍋子守神社神楽」と町内1団体を予定、その他、伊東市から2団体、伊豆市から1団体を予定、会場業務を(株)IKCに業務委託。

一般質問

国の緊急経済対策の内容は

町長-河津町へ1億4,000万円交付、エコクリーン事業ほかに

質問...国の平成21年度予算、第一次補正予算の経済対策の内容は。

質問...当町への補助金はどう活かすか。

質問...町独自の経済対策の考え方は何か。この補助に用途の制約があるのか。

町長...当町へは1億4,000万円交付され地域経済対策のため教育関係、高度情報社会への対応、エコクリーン事業、森林整備を考えている。

質問...経済対策の事業は、河津町内に宿泊されたお客様には、農産物、海産物を一部無料で提供するなどで関係者が直接利益を受ける事業が経済対策ではないのか。町の単独事業として、プレミアム商品券の販売などをやったらどうか。町の努力で利用できるのは、ふる里納税制度や寄附金であり、協力と制度のPRなどは、東京電力他の計画している三筋山への風力発電建設は見高入谷の農免農道を利用するようだが、寄附金を要望したらどうか。又伊豆急電車へのラッピングは、バガテル公園の風景だけでなく町の文化財も乗せて観光PRしたらどうか。

町長...本年度経済対策は、消防自動車購入など前倒しして実施したい。観光関係は峰大噴湯公

園整備や旧峰ホテルの解体など検討している。又融資関係は商工会と一体でやっている。観光関係は、旅館、民宿経営者が後継者不足でもある。借り入れは銀行サイドで個人対銀行という状況できびしい。

ふる里納税など積極的にPRしたい。東京電力の農免道路工事負担金の寄附は地元の活性化のため長い間御支援願えるよう思っている。仏像などの伊豆急電車へのラッピングは、まず遺産を保護する事が大切で、お客様が来てもうまく案内できる状況ではない。文化財をきちっと整備すべきと思っている。

質問...経済対策は、今必要とされている対策が必要ではないか。観光、商業、土木、建築等が不況に落ち込んでいる。その中に町として何をすれば活性化につながるか。文化財整備が必要ある地域との連携を深め、大切に保存すべきだ。

町長...融資は、個人への問題できびしいが、利息など安くなるようお願いしている。文化財は、国、県、町の補助金75%、地元で25%負担して実施しているが地域の方もやる気を起してやっ

て行く事が原点ではないか。



駅前プラザ商店街



土屋桑太郎 議員

生活支援対策は

町長-給食サービスなど協力しあって

質問...お年寄りが日常生活に困っているものは何かと言うと、日常の生きがい、安心安全に送るための施策、交通手段、医療、在宅介護、高齢者サービスの充実ではないか。

町長...高齢化率32%のなか、シルバーセンター、給食サービスなど協力し合って実施している。安心安全対策として、消防署との連絡ができる通信システムなど実施している。少子化対策は、結婚により子供を増やす事で結婚祝金など実施している。保育もわかば保育園や保育ママ制度もあり、医療費の無料化も12才まで上げる検討もしている。

質問...お年寄りの生きがいは、満足した生活が送れるかどうか。少子化対策は、子供が生まれた時安心して育てられる環境づくりで、養育不安をなくす事である。子供の入学時、給食、医療の援助などで父兄の負担を減らす事ではないか。

町長...子育て、結婚などの問題はいろいろあるが、若い人の経済状況が大変きびしいなか、この不況を活性化させ雇用の拡大を図ろうと国なりにやっている。町も精一杯やっているが、何もかもと言うわけには行かない。

町経済の活性化の今後の政策は

町長—交付金1億4千万円を有効に

質問...下田税務署管内の黒字企業は19%、河津町の個人の年間平均所得—昨年227万円、昨年の資料では229万円。県下でワースト2位である。消費の落ち込み、雇用問題、建設不況を踏まえ、短期的経済対策及び長期的視野に立ち、町の経済回復への対策について、考えは。

町長...河津の経済はかつてなく厳しい。その中で観光産業の落ち込みが大変厳しい。一人でも多く観光客の流入を図る。2009年度予算等も前倒しして発注するのが一番先決と思う。

質問...第1次補正の特別交付金1億4,000万円が町内を循環し、2億、あるいは5億の効果を生むような施策を願うが。雇用の場の確保が必要だ。企業受け入れの為、計画的に光ケーブルの基盤整備、優遇税制の整備を行う考えは。泉崎村の住宅政策、企業誘致。西粟倉村の子育て支援、住宅支援の成功例に対して町長の政策は。

町長...交付金については、早期に事業化をして、町内に早くお金が回るような対応をする。町はインフラ関係、環境整備は町なりにほとんどやった。要は個々

の皆さんのやる気が、活性化の為の個々の問題と思う。

質問...個々の努力の問題というが、県下で西部に比べ厳しさが非常に違う。交付金で子育て支援、保育料の4,000円補助はどうか。160人で768万円、今年度手始めに。良ければ継続出来ないか。町長...1市3町の合併が実現できれば、統合した投資的なもの考えたが、松崎町は大変厳しい状況下にあると考える。

河津の文化遺産、文学遺産の今後の活用は

町長—地域の案の提示を

質問...谷津南禅寺に県の指定文化財として、薬師如来坐像を始め11体、その他15体。峰の善光庵に十一面観音立像、沢田の涅槃堂の涅槃像等、非常に格式の高い文化遺産があり、文学遺産に視点を向けると、川端康成はもとより、井伏鱒二、太宰治、亀井勝一郎、石坂洋次郎、三島由紀夫、など多くの文人が訪れている。日本三大仇討ちの一つ、曾我物語という歴史的遺産もある。大変価値のある町内の財産は今までどのように扱われ、町



南禅寺：薬師如来坐像、地藏菩薩立像、十一面観音立像（左から）



宮崎啓次 議員

民あるいは対外的にいかんが発信してきたか、今後の対応、活用の考え方は。ソフト面として、バスか列車のツアーで河津に来て、各施設を3時間位で回れるコースを設定し、業者と着地型観光の商品づくりをするのも一つの案と考えるが。

町長...南禅寺については、地元で場所や施設の案が提示出来れば、積極的に取り組む。文学遺産については、特に福田家さんに貴重な遺産があるので、湯ヶ野の地域の皆さんの頑張りを期待する。

半減した交通指導員の確保を早急に

町長—増員に向け努力していきたい

質問...通学路において、交通量が多く、歩道が未整備の危険な地域の今後の整備予定は。定員に満たない中、御協力頂いている交通指導員の皆様の確保について、半減した人員、増員に早急に取り組めないか。

町長...増員に向かって努力していきたい。老人クラブの皆さんにも出来る限り子供達を見守っていただければと思う。

建設課長...県の事業で、佐ヶ野橋から峰大橋付近まで750m詳細設計を行っている。今年度、用地測量、平成22年度より着工出来るよう進めると聞いている。

これからの河津桜の里づくり計画は

町長—一つの山に河津桜植栽で特色ある里づくり

質問...来年は桜まつり20周年をむかえる。町の最大イベントである河津桜まつりを維持していくためには、桜の保護、育成を計画的に進め、河津桜の里づくりが大切と思う。河津川沿の桜については、河川改修、護岸工事等で将来心配がある。これから観光の目玉とするためにも、長期ビジョンを立てて、桜の里づくりをと思うが、どのように進めるのか。

町長...河津川沿の桜が河川改修で大変問題になっている。中央道の両サイドに植栽すべく予算計上している。又、23地区の区長にも河津桜を増植するのお願いをしている。地域からも植栽の要望もある。又、全山河津桜、もみじなど特色のある、環境の良い、交通網の良い所に植えなければと思う。

質問...町内の河津桜の植栽されている状況と、苗木の育成数は。産業振興課長...20本以上集積されて植えてあるところは22ヶ所で約4,500本。点々と植えてあるところを合わせて8,000本で、河津川沿は800本である。苗木の確保は、河津桜200本、正月桜は100本であるがまだ小さい。大

島桜が200本、増植苗木が100本ある。来年は桜まつり20周年なので再度、桜の里づくりのため皆さんに植栽をお願いしたい。

観光交流館の管理と運営は

産業振興課長—支配人を置いて全体のコーディネートを

質問...交流館の運営管理と地場産品の販売はどのように行っていくのか。

産業振興課長...指定管理者は河津町観光協会にお願いする。物品販売関係は組合をつくって経営していく。管理運営については今後視察等を含めしっかりした経営ができるよう形をつくる。質問...交流館内に食堂部門を設置するが経営はどのようにするのか。又、全体を把握するため支配人を置くのか。

産業振興課長...食堂部門は基本的に観光協会の管理下を考える。直営か、テナントにするかは今後協議する。支配人は物品販売をするので全体をコーディネートする人を必要とするので置かなければと考える。



観光交流館建設安全祈願祭



萩原清男 議員

小学校の児童数減少による教育の有り方と学校統合は

町長—地域と行政が真剣に再度検討すべき課題

質問...河津町の小学校児童の減少、特に東小学校、西小学校では10人以下の学級がある。少人数教育の有り方と教育方針をどのように考えるか。又統合は。教育長...直接的の答えはむずかしいが、小規模校のメリット、デメリットはある。良い面としては、先生が子供をしっかりと把握できる。又自分の存在位置があり、不登校が少ない。地域が学校、子供を支えてくれる。その反面、負としては、子供達の意見がある程度固定化しやすい。運動、勉強についても固定観念が出て、それ以上がんばりを持つことがむずかしくなる。これから5歳以下の子供が東小学校区、西小学校区は少しずつ減ってくる。統合については検討研究はしなければと思う。

質問...小学校統合を望む声もあるが町として将来どのような教育の形をつくっていくのか。

町長...幼稚園統合と一体で立ち上げることが出来なかった。これからの情勢をふまえて、地域、父兄が真剣に問題の方向性を出せば町としても、積極的に考える課題と思う。

議会視察レポート

5月13日～14日と2日間、三重県度会郡玉城町の農産物直売施設の視察研修を実施したので報告します。

〔尙玉城アクトファーム〕

河津町では、町内笹原地内に（仮称）観光交流館の建設を計画なので視察研修を行った。河津を朝7時に出発し、東名高速道を走り、途中で道の駅「立田ふれあいの里」、「ハイウェイオアシス刈谷」、「松坂農業公園ベルファーム」の3ヶ所の農産物直売施設を視察した。どの施設も地産地消をベースに地域とマッチしたすばらしい施設であった。その後、伊勢道を南下し、伊勢市に着いたのは4時半過ぎだった。視察地、度会郡玉城町は、伊勢市の隣の町で、「玉城アクトファーム」は平成9年7名により出資金995万円で設立し、その後50名になり現在は、95名で経営、その後平成9年11月町から管理運営を受託し

た「食の館」で「ふるさと味工房アグリ」を運営し、農産物加工（豚肉、ハム、パン）、野菜等を販売、レストラン事業も行っていた。施設は、町が設置した公園内にあり、温泉施設、芝生広場、散策コース等が整備されていた。

来店者数、売上高は当初5万人、5千万円程度、現在は、25万人（1日850人、7割が町外者）、4億円、経営方針として農家会

議を年4回実施し、作物の検討（販売品物）会員農家の指導等を行い現在黒字経営で推移している。本町で計画中の交流施設は、本年12月の完成予定で、桜まつりの本部機能、観光情報、地場産品の物販、観光ガイドの拠点となる事が目的、品ぞろえや扱い量、観光地にあって、一次産業との連携等、関係者が創意工夫し、河津らしい施設を作り上げる事を望みたい。



（視察先で社長より説明を受ける）



相馬宏行議長のフランス親善訪問報告



6月9日から5泊7日でフランス・パリ市バガテル公園で開かれた第102回国際バラコンクールに参加させて頂きました。

バラコンクールは約200名の審査員が58種のバラを樹勢、耐久性、花形、花数、香りの5つの

点から審査、優秀な品種を選ぶもので、どの品種をみても大変すばらしいものですが、残念なことに、咲く時期により最大限にその美しさを表現できないものもありました。バラについて無知の私が審査に参加する資

格はなかった様に感じますが、フランスをはじめ世界の国々から多くの品種が河津バガテル公園に植えられればすばらしいことだと思えます。

また滞在中は、在仏日本大使館へ公使、パリ市庁舎へ副市長を表敬訪問し、国際親善にもつとめさせて頂きました。

また、一般参加して頂いた6名の方とともに、モンサンミッシェル修道院、ノートルダム寺院、ベルサイユ宮殿等視察させて頂き日本にない伝統文化、風習の違いを訪れる先々で感じました。

視察を通して学んだことを、これからの町政に結びつけていきたいと思えます。



南伊豆地区 1市3町合併協議会の経緯

6月19日一斉に1市3町の臨時議会を開き、最終判断となる廃置分合議案の審議が行われた。結果、下田市、河津町が可決、南伊豆町、松崎町が否決。これにより、1市3町の合併は破綻となった。

かえりみると、平成18年3月に、県の合併構想の中、南伊豆1市5町の枠組が示され、19年11月、東伊豆町、西伊豆町が離脱宣言する。20年1月、下田市、河津町、南伊豆町、松崎町が合併協

議会設置準備委員会設置し、同2月には松崎町議会が合併協議会設置議案を否決する。松崎町民が合併協設置を本請求したが議会が三たび否決。6月松崎町の住民投票の結果、1市3町が合併協議会を設置となった。

1市3町合併協議会の設置に伴い、河津町は合併推進委員会を設置し7月25日、第1回合併推進委員会を開いた。

南伊豆地区1市3町協議会は20年6月25日に第1回を開き、12

月24日に開かれた第7回協議会で、新市名を「下田市」と決定。21年3月、松崎町議会と南伊豆町議会が、合併協議会離脱を決議した。又4月には松崎町では合併に伴う町長選挙が行われ無投票で深沢町長が3選された。5月には住民投票条例案を松崎議会は否決した。

このような情勢の中で、1市3町合併協議会は12回の会議で各協議事項26を確認する。河津町合併推進委員会も、20年7月第1回から、今年6月17日の第12回目の委員会まで協議を行った。各市町においては、26項目の確認をふまえて、各首長による合併協定書調印が6月10日に行われ、平成21年6月19日に合併を最終判断する廃置分合議案を一斉に審議することとなる。結果として、2つの町の否決により、6月23日の第13回1市3町合併協議会で、合併協議会の廃止を決定し、9月各市町の議会の議決を求めることとなった。

■南伊豆地区1市3町合併協議会の経過■

年月日	協議会	協議事項	件数
H20.6.25	第1回協議会	合併協定項目等他	9件
H20.7.30	第2回協議会	条例、規則等取り扱い他	3件
H20.8.20	第3回協議会	各種事務事業取り扱い他	2件
H20.9.8	第4回協議会	一部事務組合取り扱い他	2件
H20.10.8	第5回協議会	電算システム等の取り扱い他	2件
H20.11.12	第6回協議会	地域自治組織の取り扱い他	7件
H20.12.24	第7回協議会	新市の名称について他	9件
H21.1.21	第8回協議会	国民健康保険事業取り扱い他	7件
H21.2.13	第9回協議会	公社、第3セクター等他	8件
H21.3.4	第10回協議会	財産及び債務の取り扱い他	10件
H21.3.27	第11回協議会	補助金、交付金の取り扱い他	4件
H21.4.21	第12回協議会	合併協定書について	
H21.6.23	第13回協議会	合併協議会廃止について	

風力発電計画の概要について

地球環境問題への対応等により、世界的に環境負荷の少ない新エネルギーの導入が進められており、自然エネルギーである風力を利用した発電は、二酸化炭素の発生を抑えるクリーンなエネルギー供給手段として重要性を増している。そこで、河津町と東伊豆町境界に位置する三筋山山頂地域において、東京電力(株)と同社グループの(株)ユーラスエナジー・ジャパンにより21基の風車建設計画が進められている。風車の規模は全高約100m、合計出力は35,070kw、一般家

庭約20,000世帯分の電気を賄うことが出来る。すでに平成17～19年の2年半に亘り風車からの騒音・電波障害・貴重動植物への影響等の各種調査を実施し、地域環境への影響は軽微である

との結論を得た。見高入谷区年次総会、見高土地改良区総会、及び上佐ヶ野区、見高財産区の関係役員に事業概要を説明済みとの事である。事業実施に向け準備が進められている。



風力発電計画が予定される三筋山周辺



相馬宏行議長

町議会議長の
主な活動報告

- 3月18日 河津中学校卒業式に議員と共に出席
- 3月19日 各小学校卒業式に議員と共に出席
- 3月23日 町交通安全対策委員会に出席(役場)
- 3月25日 町合併推進委員会に飯田議員と共に出席(役場)
- 3月26日 わかば保育園卒園式に出席
- 3月27日 1市3町合併協議会に飯田議員と共に出席(下田市)
- 3月29日 伊豆つくし会落成式に土屋議員、稲葉議員と共に出席(下田市)
- 3月31日 町役場職員離任式に出席
- 4月1日 町役場職員辞令交付式に出席
- 4月5日 町消防団入団式に出席
- 4月6日 春の交通安全街頭広報に出席(伊豆急駅前)同日、各小学校、中学校で入学式が行われ議員と共に出席
- 4月9日 第24回国民文化祭実行委員会に第2委員長と共に出席(文化の家)同日、町消防団幹部団員の歓迎迎

- 会に出席
- 4月16日 伊豆見高入谷高原温泉宿泊施設落成式に議員と共に出席
- 4月21日 町合併推進委員会及び1市3町合併協議会に飯田議員と共に出席(役場)
- 4月30日 1市3町の合併に対して町当局より説明を受ける
- 5月13日~14日 議員視察研修(三重県玉城町)
- 5月16日 第70回黒船祭記念式典に副議長と共に出席(下田市)
同日、河津町自衛隊協力会総会に第1常任委員長、副委員長と共に出席
- 5月18日 河津町商工会通常総会

- に出席(バガテル公園)
- 5月19日~20日 全国町村議会議長会第34回研修会に副議長と共に出席(東京都)
- 5月20日 富士山静岡空港利用促進協議会に出席(静岡市)
- 5月22日 富士山静岡空港開港記念内覧会に出席(牧の原市)
- 5月25日 静岡県町村議会議長会総会に出席(静岡市)
- 5月26日 河津町観光協会総会に出席(商工会館)
- 5月27日 賀茂郡議長会に出席(下田市)
- 5月31日 富士山静岡空港開港記念祝賀会に出席(静岡市)
- 6月1日 静岡県地方議会議長連絡協議会総会・政策研修会に副議長と共に出席(静岡市)
- 6月2日 郡消防操法大会の訓練を副議長、第1常任委員と共に激励

議会一口メモ

廃置分合

法人格の発生、消滅を伴う地方公共団体の区域の変更のことをいう。市や町など地方公共団体の区域の変更には、廃置分合のほかに、「境界の変更」があるが、境界変更は関係する市や町の境界が変わるだけで、その団体の人格には何ら影響を及ぼさないので廃置分合とは大きく異なるものである。

廃置分合には4つの種類があ

るが、合併による廃置分合はその中の「合体」というものである。この地域でも1市3町の合併により、廃置分合が行われる予定であったが、6月19日の臨時会において松崎町議会、南伊豆町議会で否決されたことで賀茂地域1市3町の廃置分合は白紙にもどされた。

編集後記

6月7日、河津川の鮎釣りが解禁された。今年は、第56回県鮎釣り大会が河津川において開催される。今年も、天然遡上、魚影、型も良く、すばらしい大会が期待される。河津町の宝の一つである河津川も清流と呼べる川となり、その陰には町民の川に対する意識の向上、又町で進めている合併浄化槽の効果も表われて来ているのではないか。河津町にとっても、河津桜、温泉、川、この自然を大事に守って行きたいものである。(吉田)